



9月 おいすかだより

2022年9月20日発行



日本の朝夕は涼しくなったとお聞きしています。秋ですね。常夏のジャカルタの園庭では水盤の蓮に花が咲き、ひと時、涼を楽しみました。水盤の向こうの川に水が流れていないのは清掃中のためです。子どもたちが安心・安全に遊ぶことができるよう、インドネシアのスタッフがいつも庭のお手入れをしています。畑には作物が育ち、芝生もいい感じに育ってきました。

さて、本日は嬉しいニュースをお伝えいたします。以前、主任を務めておられた今日子先生が、また主任として赴任されました。ネパールやスリランカを始めとした世界の各地での保育経験をお持ちの今日子先生も、コロナ禍により2年ほど日本で保育にあたっておられましたが、先月、やっとジャカルタにいらっしゃいました！日本では、帰国された卒園生やご家族、卒園生の担任の小学校の

先生方と様々な楽しいコミュニケーションをとることができたそうです。保護者の皆さま、またどうぞよろしく願い申し上げます。

さて、先週まで子どもたちが熱心に取り組んでいたのは、「こどもまつり」の準備です。「こどもまつり」は香港のオイスカ幼稚園で1989年に始められて以来、各地のオイスカ幼稚園にも広がり受け継がれてきた楽しい行事です。

右の画像は「こどもまつり」提灯作りをするHちゃんです。二枚に重なった画用紙に鋏で慎重に切りこみを入れています。道具を用いた手指と目の協応動作は脳の発達を促します。「こどもまつり」の後は、敬老の日があります。日本にいらっしゃる、おじい様、おばあ様に遠く離れていても出来ること、喜んでいただけることに取り組む予定です。どうぞお楽しみにお待ちください。



園庭や畑では様々な作物が育ち、子どもたちは獲れたてのメロンやパパイアをお弁当のデザートとして楽しんでいます。当園は先日、ジャカルタ首都特別州当局から先進的保育を実践するモデル園として認定されましたが、見学にみえるインドネシアの先生方は教育活動としての作物栽培や園庭の環境に大きな関心を示してお帰りになります。蒸し暑い日が続いていますが、美味しい果物で乗り切りたいと思います。

